

報道関係各位

# News release

2022年11月22日

## マーサー、日本総報酬サーベイ（Total Remuneration Survey）2022年度の結果を発表

- 参加企業数は1021社（昨年863社）、うち日系企業は128社増（昨対比+42%）の430社に急増し、日本国内における報酬サーベイとしては過去最大規模を更新した
- 最新の調査結果では、日系企業の課長の賞与込み年収は1,040万円（昨対比+1%）、部長は1,377万円（昨対比+1%）と一定程度の上昇が見られたものの、物価上昇には劣後した
- 日系企業における報酬を職種別に比較すると、人材獲得競争が激しいデータアナリティクス職種は、全職種中央値と比較して6~9%報酬額が高い（昨対比+1%）

組織・人事、福利厚生・ウェルビーイング、資産運用のグローバルリーダー、マーサーの日本法人であるマーサージャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 草鹿 泰士）は、日本における報酬に関する市場調査「Total Remuneration Survey（以下、TRS）」の2022年版レポートを発表した。

近年のデジタル化やグローバル化、少子高齢化などのメガトレンドを受け、ジョブ型雇用が日本の労働市場に定着したことで、ウクライナ情勢や円安、物価高など先行き不透明な状況においても、優秀人材獲得のために企業が報酬の透明性と外部競争力を維持する重要性が増している。

本リリースについて、マーサージャパン プロダクト・ソリューションズ部門代表の増淵匡平は次のように述べている。

「ここ数年、日本国内の顕著な動きとして市場報酬データを活用する企業が急激に増えています。日本企業でも仕事の内容で報酬を決めるジョブ型雇用が広がり、一人ひとりのスキルや職種の需要に応じた報酬マーケットをデータで見る傾向が強まってきました。特にデジタル人材やグローバル人材などの高度専門人材の確保、若年優秀層の離職対策、人件費の適正化など、活用用途は多様化しており、新規参加企業の増加だけでなく、継続的に利用する企業が増えているのも特徴です」

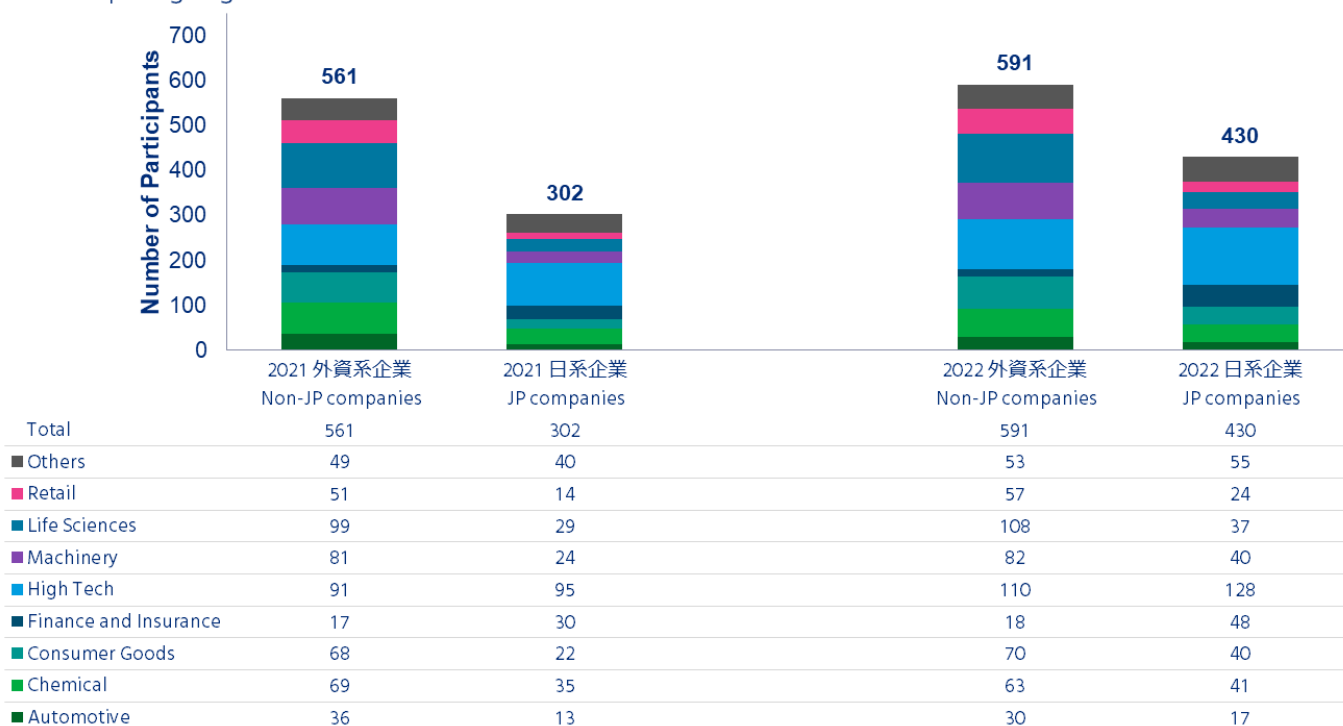
### 調査結果ハイライト

参加企業数は1021社（158社増）に増え過去最多となった。うち日系企業は430社（128社増）と全体の約4割に達し、外資系企業の参加社数に急速に追い付きつつある

- ハイテク業界、金融業界、消費財業界を中心に日系企業の参加が増えた
- ハイテク業界は日系企業・外資系企業ともに参加数が増え 238 社（52 社増）に達した
- 調査 2 年目の金融業界は、新たに 13 社の日系アセットマネジメント企業を加え、66 社となった（19 社増）

## 日系／外資系の参加企業数 2022

No. of Participating Organizations 2022 JP VS Non-JP



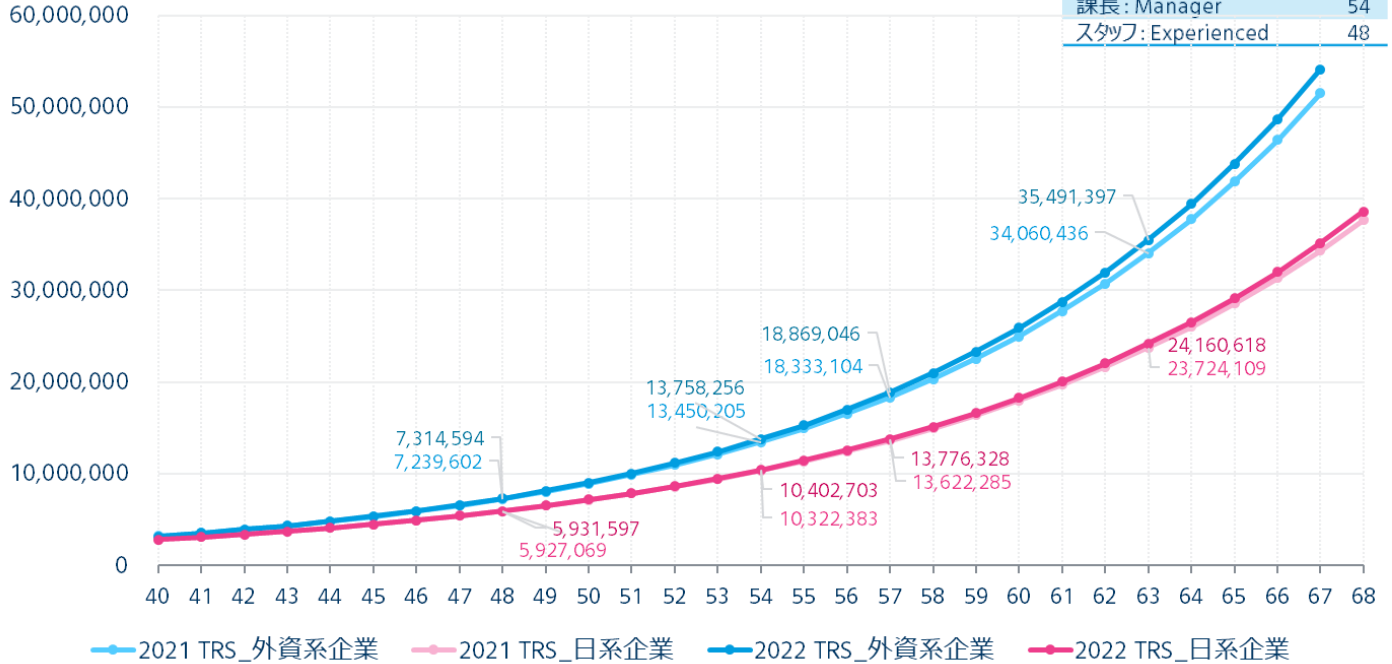
日系企業の課長の賞与込み年収は 1,040 万円（昨対比+1%）、部長は 1,377 万円（昨対比+1%）であった

- 日系企業、外資系企業の年収水準額を 2021 年水準と比較すると、いずれも上昇しているものの、日系企業の上昇率は外資系企業に比べて緩やかである
- 昇給予算の中央値は 2021 年が 1.9%、2022 年は 2.0%と例年並みの水準にとどまり、物価上昇の影響は限定的だった

## 日系／外資系の報酬水準比較総現金報酬(手当・賞与込み) 2021-2022

JP/Non-JP TCC Target (includes allowances, STI) 2022 vs 2021

Career Levels	PC
経営幹部: Director	63
部長: Sr. Manager	57
課長: Manager	54
スタッフ: Experienced	48



職種別に日系企業・外資系企業の年収（手当・賞与込み）を比較すると、データアナリティクス、法務の報酬は、全職種中央値を上回っている

- 職種別報酬差は日系企業よりも外資系企業の方が大きい
- 日系企業でも獲得競争が激しいデータアナリティクス職種では入社 1-5 年目の報酬で全職種と 8%程度の報酬差が生じている
- 日系企業のデータアナリティクス職種の年収を 2021 年水準と比較すると、市場昇給予算（2.0%）程度の昇給に止まった

単位：円

職種	日系企業			
	一般社員 3-5 年目 Experienced Professional (P2)		一般社員 1-3 年目 Entry Professional (P1)	
全職種	5,434,303	100%	4,290,851	100%
経営 / 企画	5,503,898	101%	4,368,684	102%
営業 / マーケティング	5,394,842	99%	4,277,085	100%
データアナリティクス	5,772,408	106%	4,680,569	109%
総務	5,397,515	99%	4,358,430	102%
財務経理	5,381,188	99%	4,288,128	100%
人事	5,318,616	98%	4,211,840	98%
法務	5,556,993	102%	4,462,800	104%
生産	5,678,660	104%	4,218,105	98%
物流	5,556,304	102%	4,310,000	100%

単位：円

職種	外資系企業			
	一般社員 3-5 年目 Experienced Professional (P2)		一般社員 1-3 年目 Entry Professional (P1)	
全職種	6,393,763	100%	5,126,686	100%
経営 / 企画	6,128,617	96%	4,902,114	96%
営業 / マーケティング	6,557,560	103%	5,296,430	103%
データアナリティクス	6,705,377	105%	4,844,800	95%
総務	6,520,472	102%	5,614,363	110%
財務経理	6,164,098	96%	5,034,934	98%
人事	6,075,870	95%	5,046,441	98%
法務	6,700,000	105%	5,347,448	104%
生産	5,992,973	94%	5,165,657	101%
物流	6,255,175	98%	5,243,738	102%

## 2021-2022 職種別年収（手当・賞与込み）比較

単位：円

職種	日系企業					
	一般社員 3-5 年目 Experienced Professional (P2)			一般社員 1-3 年目 Entry Professional (P1)		
	2022	2021	2022 vs 2021	2022	2021	2022 vs 2021
全職種	5,434,303	5,372,771	101%	4,290,851	4,276,707	100%
経営 / 企画	5,503,898	5,414,576	102%	4,368,684	4,339,276	101%
営業 / マーケティング	5,394,842	5,362,819	101%	4,277,085	4,318,820	99%
データアナリティクス	5,772,408	5,674,921	102%	4,680,569	4,601,827	102%
総務	5,397,515	5,352,186	101%	4,358,430	4,264,046	102%
財務経理	5,381,188	5,358,347	100%	4,288,128	4,346,624	99%
人事	5,318,616	5,328,194	100%	4,211,840	4,303,258	98%
法務	5,556,993	5,554,286	100%	4,462,800	4,469,703	100%
生産	5,678,660	5,560,836	102%	4,218,105	4,261,448	99%
物流	5,556,304	5,467,070	102%	4,310,000	4,311,239	100%

単位：円

職種	外資系企業					
	一般社員 3-5 年目 Experienced Professional (P2)			一般社員 1-3 年目 Entry Professional (P1)		
	2022	2021	2022 vs 2021	2022	2021	2022 vs 2021
全職種	6,393,763	6,406,060	100%	5,126,686	5,167,160	99%
経営 / 企画	6,128,617	6,254,258	98%	4,902,114	4,881,645	100%
営業 / マーケティング	6,557,560	6,534,555	100%	5,296,430	5,447,666	97%
データアナリティクス	6,705,377	7,074,009	95%	4,844,800	4,780,000	101%
総務	6,520,472	6,441,840	101%	5,614,363	5,395,091	104%
財務経理	6,164,098	5,973,494	103%	5,034,934	4,940,846	102%
人事	6,075,870	6,278,035	97%	5,046,441	4,909,916	103%
法務	6,700,000	6,764,278	99%	5,347,448	5,916,000	90%
生産	5,992,973	6,114,159	98%	5,165,657	5,155,996	100%
物流	6,255,175	6,084,281	103%	5,243,738	5,121,833	102%

[マーサー総報酬サーベイ \(Total Remuneration Survey\) の詳細](#)も併せてご覧ください。

マーサー総報酬サーベイ (TRS) について：マーサーが30年以上実施している『総報酬(給与・福利厚生)』のコンセプトに基づく市場調査で、一般に総報酬調査・総報酬サーベイとも呼ばれるものです。

#### **Total Remuneration Survey (TRS) の特徴：**

- ・ 世界140カ国で実施され、グローバルトップを含む40,000社以上/2,000万人以上のトップポジションから非管理職層まで、全役職員の報酬情報を収集、提供しています。
- ・ 世界同一基準で実施されており、国内だけでなくグローバルで横断的にご利用いただけます。
- ・ 基本報酬、固定/変動賞与、各種福利厚生等の報酬水準のみならず、昇給率、賞与支給状況、雇用動向など労働市場のトレンドも確認することができます。
- ・ 日本では、2022年は1021社が参加し、日本の報酬調査として圧倒的な規模となります。

#### **マーサーについて**

[マーサー](#)はより輝かしい未来は築くことができるものと信じています。私たちはクライアントと共に、仕事そのものを再定義し必要な改革に導き、退職制度や年金の投資成果を再構築します。そして、真の健康とウェルビーイングへと導くビジョンを掲げています。全世界約25,000名のスタッフが43カ国をベースに、130カ国でクライアント企業と共に多様な課題に取り組み、最適なソリューションを総合的に提供しています。マーシュ・マクレナン (NYSE : MMC) の一員として、日本においては40年以上の豊富な実績とグローバル・ネットワークを活かし、あらゆる業種の企業・公共団体に対するサービス支援を行っています。

#### **マーシュ・マクレナンについて**

[マーシュ・マクレナン](#) (NYSE : MMC) は、グローバルプロフェッショナルサービスを提供する企業グループとして、顧客企業にリスク、戦略、人材分野の助言とソリューションを提供しています。[マーシュ](#) (保険仲介とリスクマネジメント)、[ガイ・カーペンター](#) (再保険仲介・コンサルティング)、[マーサー](#) (組織・人事マネジメント・コンサルティング)、そして[オリバー・ワイマン](#) (戦略コンサルティング) から構成されており、年間総収入200億米ドル超、全世界に86,000名の従業員を擁し、世界各地の顧客に分析・アドバイスを提供しています。

#### **お問い合わせ**

マーサージャパン株式会社

広報: 天野

Tel: 070 7548 7209

Email: [pr.japan@mercer.com](mailto:pr.japan@mercer.com)